

Mazzetti, Symbolae Sinicae. Botanische Ergebnisse der Expedition der Akademie Wissenschaften in Wien nach Südwest-China 1914/1918 3: 1-254.

\* \* \* \*

フィリア属は Zahlbruckner (1930) によってハナビラゴケ科に設定された属である。しかしその基準種はヘリトリゴケ属 (広義) の *Lecidea aeolotera* Vain. と同一である事が明らかになり、ヘリトリゴケ属 (広義) のもとに置かれていた多くの種がフィリア属に移されている (Hertel 1975, 1977; Hawksworth et al. 1981)。本属の分類学的位置に関しては最近、チズゴケ属などとともに Huiliaceae を新設する意見が Poelt & Vězda (1981) によって出されている。

筆者は Huiliaceae, フィリア属に同意し、属の特徴・類縁関係を述べた。そしてフィリア属に類似するいくつかの形態の特徴をもつ *Amygdalaria* (Poelt & Vězda はこれをヘリトリゴケ科に所属させている) も Huiliaceae に入れるべきである旨を述べた。また日本産の 2 種について形態・地衣成分・地理分布を記載し、近縁種との関係を論じた。その際、Hertel (1977) によって認められた *H. yezoensis* (= *Lecidea caesiororida* Zahlbr.) は *H. albocaerulescens* の変異型の一にすぎないとして、この異名とした。なお、現時点で明らかになっている日本産フィリア属 11 種 1 変種の検索表を作成した。

□ Ono, Mikio (ed.): **A preliminary report of taxonomic and ecological studies on the Lomas vegetation in the Pacific coast of Peru** (小野幹雄: 南米太平洋岸砂漠に成立する季節草原ロマスの生態と種分化に関する研究. 予報). 40 pp. 1982. 私費出版, 非売品. Lomas というのは主としてペルーの太平洋岸で、アンデス山脈の 500 m 以下の砂漠であるが、春先の 8 月終りから 11 月中頃まで海霧がかかり、急に花が咲き急いで結実するという地帯である。それを 7 人の論文で纏めているが、組織, 類型, 植生, 核型, 植物現存量, 種子集団等と中々多方面である。生育種数は余り多くはないが、ペルーに特殊なフロラとして注目に値するところである。ことに核型でアオイ科の *Palava malvifolia* が  $2n=10$  であることを確めたのは、或はロマスも亦頭花植物の発生地の一つであることを推理させるかも知れない点で甚だ興味のあることであった。

(前川文夫)